



大成化工機株式会社

PICK UP 企業

目次

- Pick up 企業／会社概要
- 技能実習生についてお聞きました！
- 入国制限緩和後の外国人技能実習・特定技能の入国状況
- フレンドシップ協同組合 スタッフ紹介

会社についてお聞かせください！

会社の事業案内



代表取締役社長 多田幸春

弊社は、金属部品製造をしています。メインとなるのは、(株)クボタ様の建機部品となるユーフレーム、ウェイトサポート、ブレードなどの製造で、その他にも建設機械の部品を製造しています。

始めは医療機器、その後はヤンマー(株)様の農機具にも携わりました。そして、(株)クボタ様とのお付き合いが始まり、すでに40年近くになります。

大事にしていることは、周りや社員への感謝の気持ちです。一人では何もできない、助けられていることを忘れないように、日々勤めています。

来年創業50周年を迎えられますね。

どんな思いですか？

おかげさまで創業して50年を迎えることができました。ここまで続けてこられたのは、人との出会い、ご縁に助けられたからだと思います。

私は九州の出身で、就職をきっかけに大阪に出てきました。最初は会社勤めでしたが、一念発起して独立を決意しました。最初は先輩の工場を間借りする形で始まり、紆余曲折しながら工場を続け、現在も取引が続く(株)クボタ様とのご縁に繋がりました。

自分のやりたいと思ったことより、人から頂いたチャンスがあったから会社を続けることができましたし、社員の生活を守ることができたと感謝しています。



地域との繋がりについて聞かせてください。

昔から地域の方々には良くしていただき、応援して頂いております。実は、弊社の近くにある会社は、私がサラリーマン時代に最後に勤めたところなんです。当時は統括する仕事をしていたので、地元の方とも交流があり、争うようなことは一切ありませんでした。こうしたところも評価してもらえたかなと思っています。

こうした経緯もあり、ご紹介いただいた土地で本社工場を建設することができました。本当に支えられているなど実感します。

今後は、これまでお世話になった自治体や地域の方々に、少しずつ、なんらかの形で恩返しができたらと思っています。



今後の展望について

私たちが扱う鉄は、神代の時代から存在しています。形はどんどん変化していきますが、鉄を扱う技術は変わりません。そしてこれからも無くなることなく、どんどん進化していくと私はと思っています。

しかし、残念ながら技術を受け継いでくれる若手の人材が、圧倒的に足りません。優秀な人材が海外に流れていますし「3K」と呼ばれる職業になり、希望する若者も少ないです。

私は、鉄は正直者だと思っています。曲げたり伸ばしたり素直に聞いてくれます。簡単なようで、技術と経験がないとできない繊細な作業です。これを受け継いでくれる若者を育てたい、日本のものづくり技術を守りたいと常々考えています。



技能実習生・特定技能生について お聞きしました。

技能実習生・特定技能生の人数：20人 受け入れの国：中国・ベトナム

実習生の受け入れ状況と仕事について 教えてください。

現在は、実習生の中国が3人、特定技能実習生の中国が4人とベトナムが13人います。総勢20人で、全員が男性です。

人材不足がきっかけとなり、フレンドシップ様を紹介してもらい4年になります。最初に来てくれた中国人の一期生が、まじめで勤勉なので、本当に助けられています。向上心があり、日本語も地元のボランティアで学び、話すことも書くこともできます。

溶接の仕事が多いですが、資格が必要となる試験にも合格するぐらい一期生は日本語の不安がありません。

受け入れ国を変えることに不安は ありませんでしたか？

中国人からベトナム人を受け入れ、来年にはインドネシア人の実習生の受け入れを予定しています。

受け入れ国を変えることへの不安はなかったです。実は、実習制度とは別に、ベトナム人が働いています。元々は違う会社で働いており、弊社の求人希望を見て連絡をくれました。

しかし、当時は外国人を受け入れることは考えていなかったというか「言葉が話せない」という壁がありお断りをしたのですが、なんども連絡をくれる熱意に負けて採用しました。

非常に優秀で出荷検査を任せています。ベトナム人の受け入れには、彼の存在が大きいですね。

実習生とのコミュニケーションで大事に していることはありますか？

仕事については、危険な業務や鉄の扱い、資格が必要な仕事があることを最初に伝えます。2、3ヵ月したら、先輩に付いて仕事を覚えていきます。

資格試験へのチャレンジについては、本人の意欲によって語学の差はどうしてもあります。先ほどのように資格試験にチャレンジして合格したケースもあれば、実技は合格しても筆記試験は上手いかなかったというケースもあります。

日本人スタッフとも話しますし、なにか困ったことがあればフレンドシップ様の王さんが駆けつけてくれるので、不安に思うことはありません。

ご自身はどんなことを心がけていますか？

人数も増えましたし、新型コロナウイルスの感染防止など、様々な理由から特別なことはしていませんが、必ず現場で声をかけるようにしています。直接様子を見ることで、相手のことも理解できます。

「今日の熱は何度？」なんて声をかけると「ないない」と言ってくれます。確認事項は日常会話となり、コミュニケーションのきっかけにもなっています。



今後期待していることを聞かせてください。

現行の制度では、ずっと働いてもらうことはできないのですが、長く一緒に働けたらと思います。

永住権を取りたいという特定技能実習生もいます。

実際に、弊社に勤めて勤続30年になるブラジル人は、働きながら永住権を取り、一軒家も購入しています。

こうしたお手伝いというか、できることがあれば力になりたいと思います。

何より技術を繋いでいきたいと考えているので、真面目で向上心のある人たちと出会えることを期待しています。

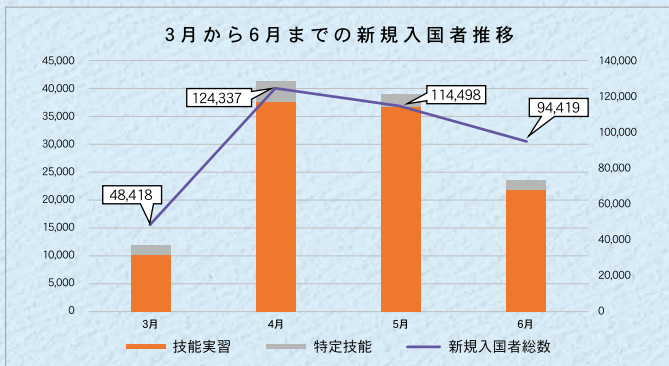


フレンドシップ協同組合

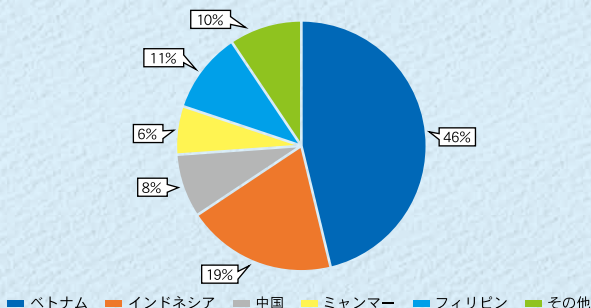
入国制限緩和後の外国人技能実習・ 特定技能の入国状況

国は、コロナ感染状況の変化を踏まえて、今年3月からは外国人の新規入国を観光を除き認め、上限を1日5000人とした。入国後は自宅や施設で7日間の待機を求めていましたが、3日目の検査で陰性なら解除するとした。その後入国上限人数を4月に1万人、6月に2万人に徐々に引き上げてきた。そのおかげで、4月から6月までの訪日客数は3カ月連続で10万人を上回り、5月は14万7000人だった。新規入国した技能実習生数も4月と5月連続で3万5千人を超え、6月も2万人を超えており、コロナ禍前の2019年の水準に戻っていると言えるだろう。3月から6月までの新規入国技能実習生数を国・地域別で見ると、ベトナムが最も多く54%で、インドネシアが19%で、中国が9%だった。

出入国在留管理庁のデータより



3月から6月までの新規技能実習及び特定技能入国者総数の国別構成比



スタッフ紹介 No.9

牧野 雅美 マキノ マサミ

- 出身国／中国
- 部署／事務
- フレンドシップに入って
どのくらい／4年

□これから挑戦してみたいこと（挑戦したいこと）

今年から部署が変わり、現在は事務員として勤務しています。昨年までは会社や実習生の対応で外回りをしておりました。

事務員と聞くと机に座り、パソコンで打ち込みをしたり、電話対応したりとのイメージがあります。しかし、各社からの情報を指定の書式に期限内にまとめたり、予定通りに入国、入社が出来る様に正確で迅速な対応が求められる仕事だと感じます。事務職となって8ヶ月が経過し、業務内容は理解出来てきましたが、まだまだ要領を得ず、上司や仲間に助けてもらって何とか業務が期限内に収まっております。

これから、もっと経験を積んで与えられた業務を迅速に遂行出来る様に創意工夫を重ねていきたいと思っています。

□趣味などありますか？

グリーン上でラインを読むプロゴルファーの姿に憧れたのをきっかけに2ヶ月前ゴルフを始めました。

元々2匹柴犬を飼っているのですが、最近子猫を拾いました。猫を飼うのは初めてで、毎日ドタバタな生活を送っていますが、ペット用のベッドやおもちゃなどをワクワクしながら選ぶのが、今の癒しになっています。



フレンドシップ協同組合オフィス風景 2022/9/8





組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

フレンドシップ協同組合

フレンドシップ協同組合は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っているにも実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい思います。



〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目11番31号グラスシティ栄5F

TEL: 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX: 052-262-3501

URL: <https://friendship.or.jp>